

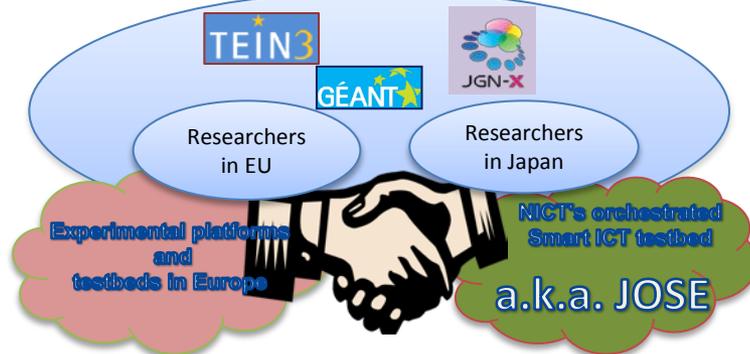
新世代ネットワークの実現に向けた欧州との連携による共同研究開発および実証

新世代ネットワークの実現に向けた技術課題の中から、特に欧州との連携により研究開発の促進が期待できる領域について、欧州委員会と連携して共同公募を行う。課題A:大規模スマートICTサービス実証基盤を用いたアプリケーション実証、および 課題B:高い密度で集中するユーザに対応可能なアクセスネットワークの開発の二つについて研究開発する。

課題A: 大規模スマートICTサービス実証基盤を用いたアプリケーション実証

(欧州側テーマ名 *Experimentation and development on federated Japan – EU testbeds*)

日欧のテストベッドを相互接続し、その上で日欧で共通したスマートICTサービスを検証する



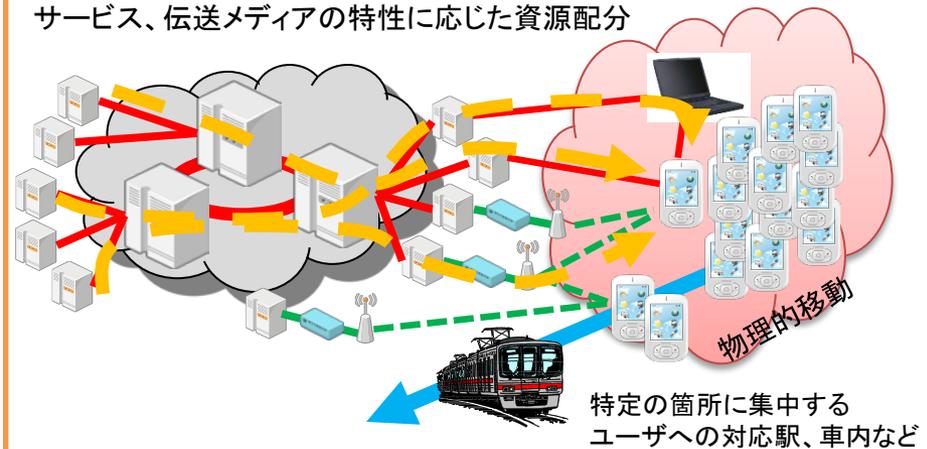
【概要】日欧のスマートICT基盤サービステストベッドを接続し、世界規模の実証実験を行う。

【達成目標】 実証実験のテーマは、日欧双方に共通する社会課題等の解決に資するものとし、アプリケーションレベルでの相互接続性を検証する。

課題B: 高い密度で集中するユーザに対応可能なアクセスネットワークの開発

(欧州側テーマ名 *Access networks for densely located users*)

サービス、伝送メディアの特性に応じた資源配分



【概要】 商業地域、会議場、避難所、学校、駅などの多数のユーザが集中するところにおいても利便性を失うことなくブロードバンド環境を提供し、運用コスト、導入コスト、環境負荷、所要電波資源のバランスの取れた低減を可能とするアクセスネットワーク技術を研究開発

【達成目標】 日欧のそれぞれが得意とするサービスセントリック制御、各種データ伝送技術、新規光アクセスアーキテクチャを組み合わせ、多様な伝送メディアを含む資源の動的配置が可能なアクセスネットワークの実現

研究開発期間： 平成26年度契約締結日(9月を予定)から平成29年まで(36ヶ月)

予算： 平成26年度総額80百万円(上限)、研究プロジェクトの日本側受託者へのみ資金提供

[課題A： 40百万円(上限)、採択1件 課題B： 40百万円(上限)、採択1件]

採択評価： 日本側提案者の評価は日本国内の評価委員会および日欧の合同評価委員会でおこなう

(欧州側Horizon 2020 提案者との共同研究プロジェクトとして提案することが条件)